資料5

国土交通省におけるこれまでの主な取り組み（事例）

◇ (1) 地域の歴史文化を保全・再生する取り組み (保存・保全・再生)

◇ (2) 地域の新たな文化を創出する取り組み (創出)

◇ (3) 地域の歴史文化を伝承する取り組み (伝承)

◇ (4) 文化交流を促進する取り組み (交流)

◇ (5) 地域の歴史文化の振興に資する地域づくり、まちづくりへの
住民参加・協働による取り組み (住民参加・連携)

◇ (1) 地域の歴史文化を保全・再生する取り組み (保存・保全・再生)

○ 古都における歴史的風土の保存
(京都市、奈良市、鎌倉市、天理市、橿原市、桜井市、斑鳩町、明日香村、逗子市、大津市)

○ 牧場として使用されていた敷地について四季を通じた独特の景観を持つ公園として整備～明治公園 (北海道根室市)

○ 一関遊水地及び平泉バイパスの計画変更による「柳之御所遺跡」の保存 (岩手県平泉町)

○ 貞山運河と名取川河口部藤塚地区の河川改修 (宮城県仙台市)

○ 横浜港における歴史的建築物の保存・再生 (神奈川県横浜市)

○ 歴史的港湾施設の保全・改修 (横浜港) (神奈川県横浜市)

○ 三国街道「須川宿」を積極的に活用した伝統・文化と観光が調和した地域づくり (群馬県みなかみ町)

○ 商家の町並みに調和する「ふるさと川づくり」～小野川 (千葉県香取市)

○ 港湾の緑化 (名古屋港) (愛知県名古屋市)

○ 歴史的な古民家再生活用と定住促進への取り組み (岐阜県飛騨市古川町)

○ 歴史的な市街地景観をモチーフとしたまちづくり (岐阜県飛騨市古川町)

○ 都心部の緑の保全と、歴史的建造物の復元を図る金沢城公園の整備 (石川県金沢市)

○ 下水道整備による浅野川の再生 (石川県金沢市)

○ 歴史・文化に裏打ちされた固有の街並み景観の再生 (富山県富山市)

○ 自然豊かな海と森の整備 (敦賀港海岸) (福井県敦賀市)

○ 三面川の自然豊かな憩いの水辺づくり (新潟県村上市)

○ 萬代橋の重要文化財登録および建設当時の復元 (新潟県新潟市)

○ 歴史的港湾環境の創造 (清水港) (静岡県静岡市)

○ 勝竜寺公園の堀の浄化（京都府長岡京市）
○ 中央部下水道改良事業の下水道敷（通称：太閤下水）（大阪府大阪市）
○ 水の都大阪再生における八軒家浜の再生等（大阪府大阪市他）

○ コウノトリの野生復帰に向けた取組（兵庫県豊岡市）
○ 旧神戸外国人居留地内煉瓦造下水道（兵庫県神戸市）
○ 歴史的資源の活用を図る舞子公園の整備（兵庫県神戸市垂水区）
○ 飛鳥地方における歴史的風土及び文化材の保存等を図る国営飛鳥歴史公園の整備（奈良県明日香村）
○ 今井町（寺内町）における歴史的建造物の保存・街並みの修景整備（奈良県橿原市）
○ 近畿圏の歴史文化を活かした歴史街道モデル事業地区の整備（近畿圏）
○ 松江堀川の浄化（島根県松江市）

○ 木蝋と白壁の町並み修景（愛媛県内子町）
○ 石井樋地区歴史文化の水辺整備（佐賀県佐賀市）
○ 歴史的・文化的な港湾施設を保全・改修（門司港レトロ）（福岡県北九州市）
○ 国営吉野ヶ里歴史公園環壕集落跡の復元（佐賀県神埼市吉野ヶ里町）
○ 歴史的建造物に配慮した街並みの保存・整備～神代小路(こうじろくうじ)地区（長崎県雲仙市）
○ 景観や歴史的価値に配慮した港湾整備（鹿児島港）（鹿児島県鹿児島市）

古都における歴史的風土の保存

（京都市、奈良市、鎌倉市、天理市、橿原市、桜井市、斑鳩町、明日香村、逗子市、大津市）

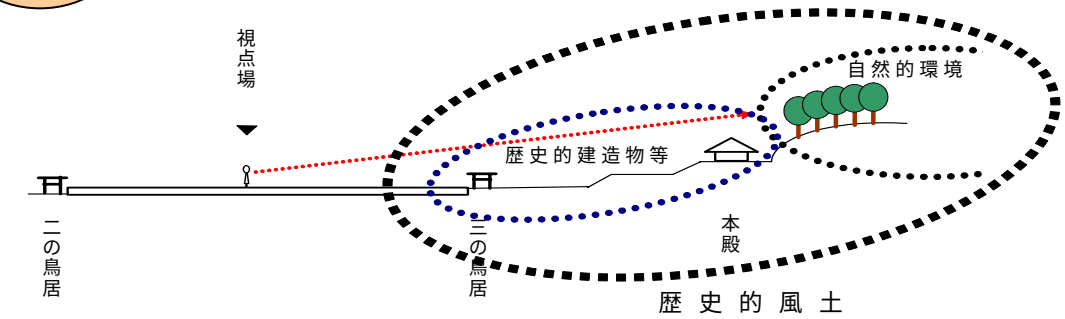
古都

わが国往時の政治、文化の中心等として歴史上重要な地位を有する市町村

京都市、奈良市、鎌倉市、天理市、橿原市、桜井市、奈良県生駒郡斑鳩町、同県高市郡明日香村、逗子市及び大津市の１０市町村

歴史的風土

古都保存法においては、わが国の歴史的な建造物や遺跡等と、それらを取り巻く樹林地などの自然的環境が一体となって古都らしさを醸し出している土地の状況をいう



奈良市　春日山特別保存地区

明日香村　歴史的風土保存地区

【取り組みの概要】

古都保存法に基づき、京都、奈良、鎌倉など全国１０都市について、歴史的な建造物や遺跡等と、それらを取り巻く山丘や樹林地等が一体となって古都らしさを醸し出している土地の状況を「歴史的風土」と定義し、都市計画に歴史的風土特別保存地区を指定することにより、現状凍結的な保存が図られている。

（1）地域の歴史文化を保全・再生する取り組み（保存・保全・再生）

牧場として使用されていた敷地について四季を通じた独特の景観を持つ公園として整備～明治公園　(北海道 根室市)

【早春の芝生と青天に映えるサイロ】

芝生の緑／レンガの赤／空の青が絶妙なコントラストを醸し出しています。

北海道新聞　2006年(平成18年)11月7日(火曜日)

地域に愛される歴史公園を選定

明治公園「日本の百選」に

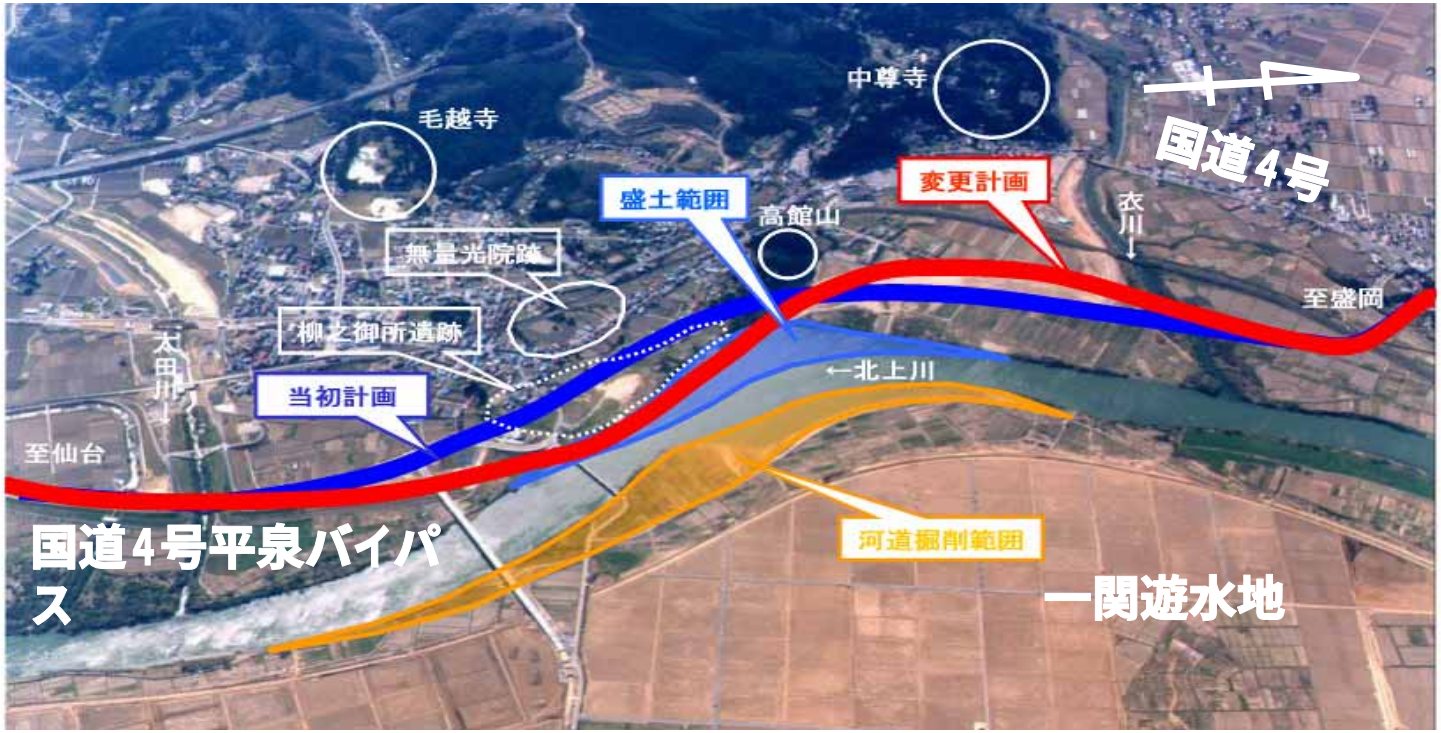
れんがサイロな と評価

【取り組みの概要】

明治8年に国立「開拓使根室牧畜場」として開設され、明治32年に明治乳業が牧場経営を終えるまで牧場として使用されていた敷地を公園として整備。公園のシンボルである国内最大規模のサイロは、現存するレンガサイロとしては国内2番目の古さを誇り、「登録有形文化財」に指定。四季を通じた独特の景観は根室を代表する風景の1つ。(S57事業終了)

(1) 地域の歴史文化を保全・再生する取り組み (保存・保全・再生)

一関遊水地及び平泉バイパスの計画変更による「柳之御所遺跡」の保存　(岩手県　平泉町)



【取り組みの概要】

堤防及び国道バイパスの計画予定地から、平安末期に栄えた奥州藤原氏の政庁「柳之御所」跡が発掘されたことから、遺跡区間を避けるよう堤防及び国道バイパスの計画を変更し、柳之御所遺跡を保存。

(1) 地域の歴史文化を保全・再生する取り組み (保存・保全・再生)

貞山運河と名取川河口部藤塚地区の河川改修
(宮城県　仙台市)

治水･自然環境･景観･歴史が共存する地域社会の創出

河口･井土浦の豊かな自然と貞山運河･クロマツ林の歴史的な風情よりなる景観やそこから望む朝日等の景観の保全、及び河口部周辺の広大な眺望景観の創出

貞山運河が存在し、歴史的な景観が形成

ヒヌマイトトンボ

【取り組みの概要】

伊達政宗が、家臣川村孫兵衛に命じて以来、舟運･新田開発の目的で明治まで開削された貞山運河において、周辺の日本の重要湿地500にも選定されている井土浦（干潟）やヨシ原湿原の環境、景観等にも配慮した河川改修を検討。

(1) 地域の歴史文化を保全･再生する取り組み（保存･保全･再生）

横浜港周辺における歴史的建築物の保存･再生
(神奈川県　横浜市)

横浜第２地方合同庁舎

「キイケン」の愛称で永年親しまれた旧横浜生糸検査所。建物の正面外観を復元し歴史的街並み景観を保存しました。

横浜地方･簡易裁判所

横浜の日本大通りの歴史的な街並みを保存するため、建物正面を創建時の外観に復元しました。

横浜港周辺位置図

横浜税関本関

イスラム風の塔を有し、優美なたたずまいから「クイーンの塔」の愛称で横浜のシンボルとして広く市民に親しまれてきた横浜税関本関。歴史的建築物の意匠に敬意を払いつつ、新しい増築部分には独自の個性を与えることによって、両者が対比的でありながら、連続性を持つ保存･活用を実施しました。

【取り組みの概要】

１８５９年の横浜港開港以来、税関、横浜生糸検査所、横浜地方･簡易裁判所など日本の近代化の象徴であるミナト横浜を代表する建築物について、市民に親しまれる場の形成や、歴史的景観を保存･活用するための取り組みを通して、地域の活性化、まちづくり等に大きく貢献している。

(1) 地域の歴史文化を保全･再生する取り組み (保存･保全･再生)
(3) 地域の歴史文化を伝承する取り組み (伝承)
(4) 文化交流を促進する取り組み (交流)

歴史的港湾施設の保全･改修（横浜港）
（神奈川県　横浜市）

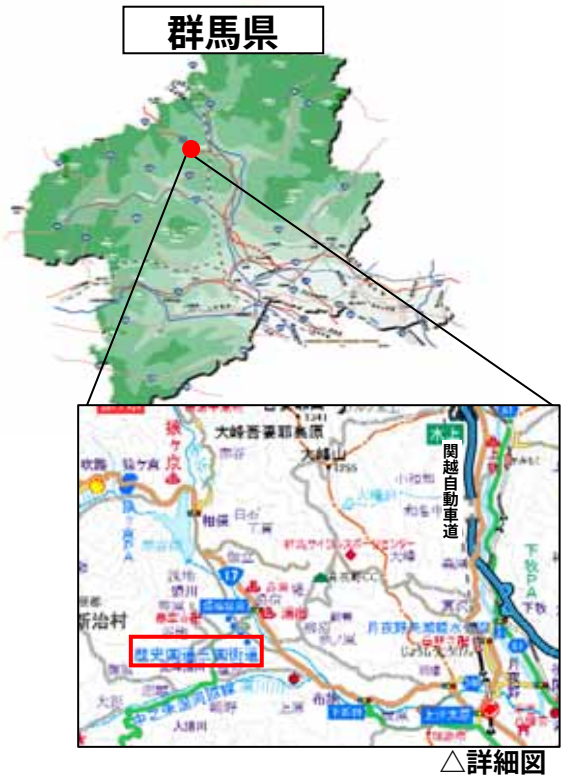
横浜港赤レンガパーク

【取り組みの概要】

周辺の歴史的構造物等との調和に配慮し、海辺に隣接する遊歩道、植栽等を整備（横浜港において、港湾環境整備事業により実施）。

（1）地域の歴史文化を保全･再生する取り組み（保存･保全･再生）

三国街道「須川宿」を積極的に活用した伝統・文化と観光が調和した地域づくり　(群馬県　みなかみ町)

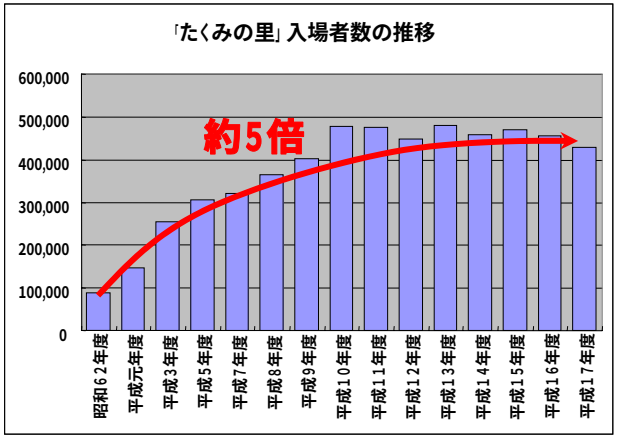


△詳細図

整備前

整備後

△「たくみの里」総合案内所



【取り組みの概要】

江戸時代に五街道の脇街道として整備された三国街道。この三国街道にある「須川宿」を積極的に活用し、自然と調和した整備を行い、沿線の伝統文化体験施設「たくみの里」との連携による伝統・文化と観光が調和した地域づくりを実践している。

(1) 地域の歴史文化を保全・再生する取り組み (保存・保全・再生)

商家の町並みに調和する「ふるさと川づくり」～小野川（千葉県　香取市）

伊能忠敬旧宅

●小野川周辺ネットワーク●

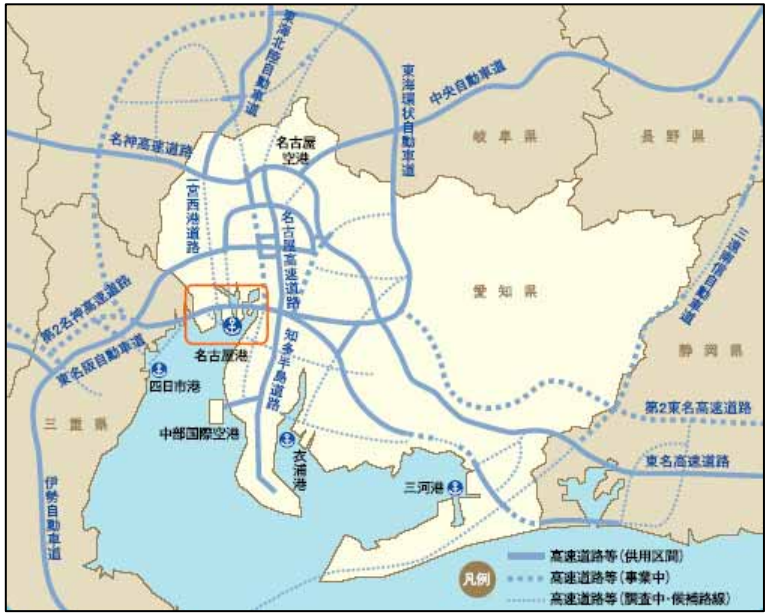
舟運の状況

【取り組みの概要】

歴史的な沿川景観と調和した美しい水辺空間の回廊として、佐原のまちづくりのシンボルとなる、安全でうるおいのある川としての役割を高め、施設等の整備を進め、景観的なアクセントを創出している。

(1) 地域の歴史文化を保全・再生する取り組み（保存・保全・再生）

港湾の緑化（名古屋港）
（愛知県　名古屋市）



名古屋港ガーデン埠頭

【取り組みの概要】

周辺の歴史的構造物等を中心とした賑わい空間の創出を目的とし、遊歩道、植栽等を整備（名古屋港において、港湾環境整備事業により実施）。

（1）地域の歴史文化を保全・再生する取り組み（保存・保全・再生）

歴史的な古民家再生活用と定住促進への取り組み
(岐阜県　飛騨市)

▲「集落内活動展開図」
種蔵地区整備基本計画（H17）より

▲移築改修予定の古民家

▲田舎暮らし体験モデル住宅

▲宿泊棟として活用予定の板倉

▲田舎暮らし体験モデル住宅

【取り組みの概要】

宮川町種蔵地区に残る棚田や板倉による美しい農村風景住宅や、市内に存在する空き家となった古民家を、「体験型宿泊施設」や「田舎暮らし体験モデル住宅」として再生利用整備することで、都市との交流人口の増加及び飛騨市への定住促進を図るものである。

(1) 地域の歴史文化を保全・再生する取り組み（保存・保全・再生）
(3) 地域の歴史文化を伝承する取り組み（伝承）
(4) 文化交流を促進する取り組み（交流）
(5) 地域の歴史文化の振興に資する地域づくり、まちづくりへの住民参加・協働による取り組み（住民参加・連携）

歴史的な市街地景観をモチーフとしたまちづくり
(岐阜県　飛騨市)

・大横町線整備（NTT線地中化、電柱美装化、道路美装化、街灯整備）

▲　整備前

▼　整備後

古川地区代表的木造建築物

民間建築物の景観助成金などの市民参画によるまちづくりがおこなわれている。

文化交流を目的とした建築物(飛騨の匠文化会館)
日本ナショナルトラスト施工

【取り組みの概要】

歴史的な市街地景観をモチーフとして、良好な住環境と地域文化を紹介する等、文化交流を目的とした建築物、道路修景、公園整備等が行われている。

(1) 地域の歴史文化を保全・再生する取り組み（保存・保全・再生）
(4) 文化交流を促進する取り組み（交流）
(5) 地域の歴史文化の振興に資する地域づくり、まちづくりへの住民参加・協働による取り組み（住民参加・連携）

都心部の緑の保全と歴史的建造物の復元を図る
金沢城公園の整備（石川県　金沢市）

大学跡地を都市公園として整備

年間入園者数約７０万人

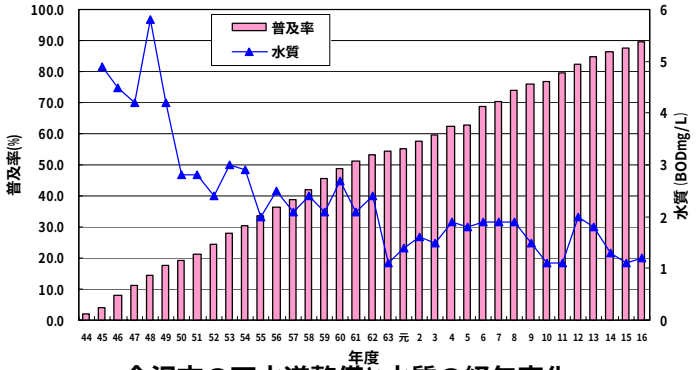
【取り組みの概要】

金沢城の貴重な歴史的文化遺産を後世に継承し、都心部に残された自然環境の保全を図りながら兼六園と並ぶ県都金沢のシンボルであり、新たな交流人口の拡大と都心地区の魅力向上に大きく寄与する都市公園として整備を進めている。

(1) 地域の歴史文化を保全・再生する取り組み（保存・保全・再生）

下水道整備による浅野川の再生
(石川県　金沢市)

水と緑の豊かな景観な浅野川



金沢市の下水道整備と水質の経年変化

友禅流しと浅野川園遊会

【取り組みの概要】

金沢を流れる浅野川は、昭和３７年からの下水道整備により清らかな流れを取り戻し、昔から市民に親しまれてきた金沢の風物詩「友禅流し」が復活し、水環境の回復により、市民の水に親しむ気運が高まりました。

(1) 地域の歴史文化を保全・再生する取り組み (保存・保全・再生)

歴史･文化に裏打ちされた固有の街並み景観の再生
(富山県　富山市)

整備箇所図

整備された諏訪町本通り

伝統芸能「おわら風の盆」

【観客入り込み総数】　整備前(H2) 約４０万人→整備後 (H16) 約６６万人

【取り組みの概要】

「曳山祭り」、「おわら風の盆」等伝統芸能が根付く八尾地区において、伝統的な雰囲気を漂わせる街並みの再生を行うべく、地域住民と一体となった、歴史的空間、景観整備を実施している。

(1) 地域の歴史文化を保全･再生する取り組み (保存･保全･再生)

自然豊かな海と森の整備（敦賀港海岸）
（福井県　敦賀市）

位置図

海岸侵食により露出した松の根

【取り組みの概要】

日本三大松原の１つである「気比の松原」を有する敦賀港海岸は、海水浴場に適し、夏期には中京、京阪神地区より多数の海水浴客で賑わう。しかし、近年、砂浜の侵食により貴重な自然景観を失いつつある。このため、自然景観に配慮した海岸保全施設整備を進め、以前の自然豊かな白砂青松の海岸に復元すべく整備を促進中である。

（1）地域の歴史文化を保全・再生する取り組み（保存・保全・再生）

三面川の自然豊かな憩いの水辺づくり
(新潟県　村上市)

三面川とサケとの歴史

古くは平安時代に三面川のサケを京都の王朝貴族に献上、江戸時代には種川を整備し、自然増殖に成功した歴史を持つ村上は、独特のサケ文化を築き上げている。

種川を生かした憩いの水辺づくり(全景)

種川の観察護岸

位置図

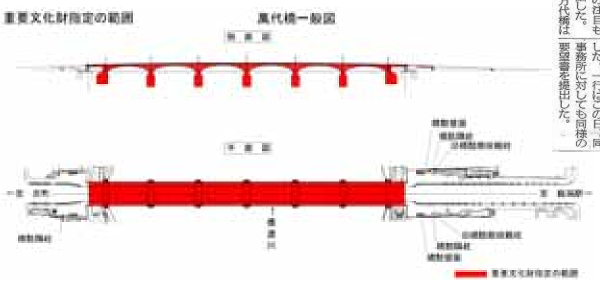
稚魚の放流状況

【取り組みの概要】

世界で初めて孵化養殖に成功したサケの川としての歴史を持つ三面川では、サケの遡上する自然な河川を維持しつつ、地域住民が水辺で憩えるよう種川や中州公園と一体的な河川改修を実施。

(1) 地域の歴史文化を保全・再生する取り組み (保存・保全・再生)

萬代橋の重要文化財登録および建設当時の復元
（新潟県　新潟市）



篠田昭市長（左）に要望書の趣旨について説明する市民団体の代表者ら＝30日、新潟市役所

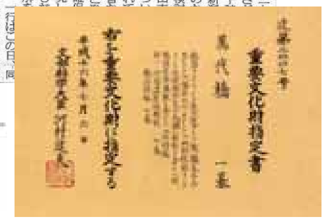
万代橋 現状で国重文に

市民団体などが新潟市長へ要望

新潟市のシンボルである万代橋について、市民団体と新潟大学の教官有志の代表者らが三十日、篠田昭市長に対し、現在の景観を保存したまま、国の重要文化財指定を受けられるよう求める要望書を提出した。篠田市長は「できるだけ早く道路管理者である新潟国道事務所に、要望を踏まえた新潟市の気持ちを伝えたい」と述べた。

要望書を提出したのは「万代橋を愛する会」や特定非営利活動法人（NPO法人）「新潟水辺の会」などの団体のメンバーと新大の助教授ら十人。各団体がそれぞれの要望書を渡し、「来年、架橋七十五年と重文指定が合えば、市民の橋への注目も集まる」などと話した。

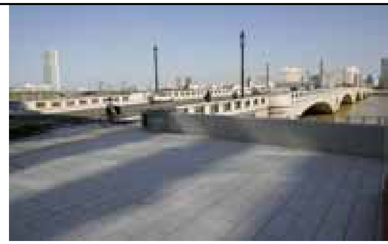
現在の三代目万代橋は

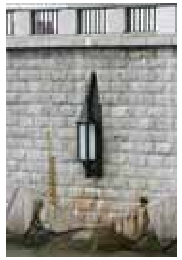


現在の萬代橋

建設当初の萬代橋

復元後の姿（橋詰、橋銘板、照明灯、橋側灯）





【取り組みの概要】

　萬代橋の架橋75年に向けて市民団体から始まった重要文化財指定の取り組みに合わせ、歩道、照明灯など老朽化に伴う修繕工事や照明灯、橋側灯及び橋詰広場の建設当初の姿への復元工事を行った。

（1）地域の歴史文化を保全・再生する取り組み（保存・保全・再生）
（5）地域の歴史文化の振興に資する地域づくり、まちづくりへの住民参加・協働による取り組み（住民参加・連携）

歴史的港湾環境の創造（清水港）
（静岡県　静岡市）

旧国鉄臨港線清水駅に昭和3年に設置された木材積込機等を中心に周辺環境を整備

【取り組みの概要】

周辺の歴史的構造物等を中心とした賑わい空間の創出を目的とし、人工海浜、植栽等を整備（清水港において、港湾環境整備事業により実施）。

（1）地域の歴史文化を保全・再生する取り組み（保存・保全・再生）

勝竜寺公園の堀の浄化
(京都府　長岡京市)

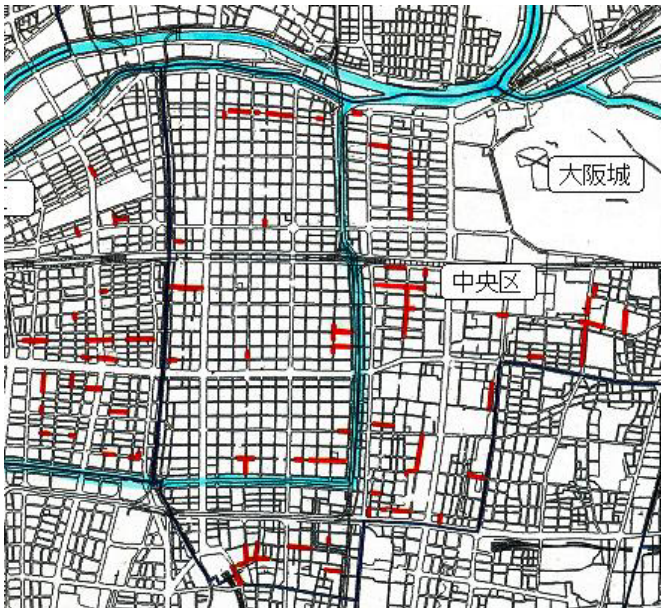
【取り組みの概要】

勝竜寺城は、明智光秀の娘･玉(のちの細川ガラシャ)が細川藤孝の長男･忠興のもとに輿入れした城である。その後、江戸時代初期には廃城となり、雑木雑草が生い茂り、城跡の堀は流れもなく水質が悪化し、次第に忘れられた存在となっていた。そこで、下水道の処理水を掘に送水して浄化を図り、荒廃した城跡の整備にも取り組み勝竜寺城公園として甦った。 その結果、現在では市民が歴史を振り返り水と親しむ絶好の憩の場となっている。また、戦国の歴史ロマンを再び現代に甦らせる市民参加の祭り「ガラシャ祭」を毎年11月に開催し、そのメイン会場になっている。

(1) 地域の歴史文化を保全･再生する取り組み (保存･保全･再生)

中央部下水道改良事業の下水道敷（通称：太閤下水）（大阪府　大阪市）

市文化財指定箇所位置図



【取り組みの概要】

「太閤下水」は、豊臣時代に大坂城築城時のまちづくりの中で原型が造られた下水溝といわれており、後の改良（明治27年より着手した中央部下水道改良事業等）を経て、現在も現役の下水道施設として使用している。

本市中央区、西区に現存している太閤下水約7kmが本市文化財に史跡として指定されたことにより、貴重な財産として下水道の歴史や重要性を市民にPRできるものと考えられる。

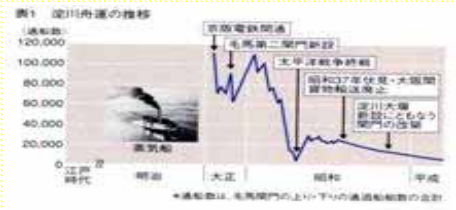
（1）地域の歴史文化を保全・再生する取り組み（保存・保全・再生）

水の都大阪再生における八軒家浜の再生
(大阪府　大阪市域)

淀川舟運の推移

江戸時代（三十石船などによる人や物の輸送）

明治・大正時代（蒸気船による物資の大量輸送）

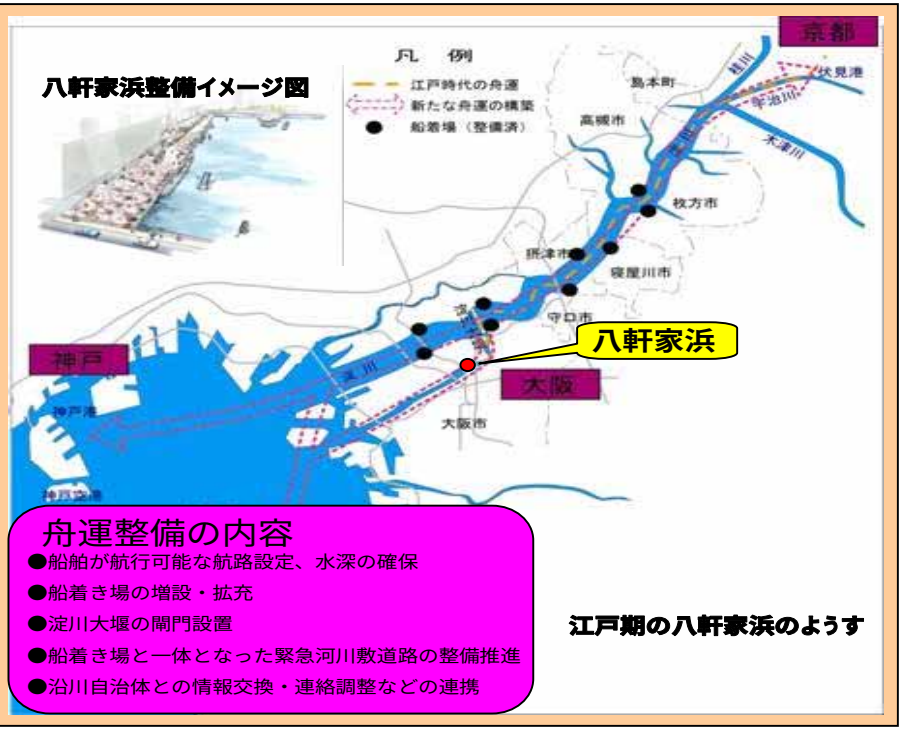


現代

（砂利運搬船など限定された利用）

新たな舟運の構築
- ●大規模災害時の緊急物資輸送等
- ●観光船、定期船（水上バス）の運行

・・沿川の魅力あるまちづくりの推進・・



【取り組みの概要】

琵琶湖･淀川の舟運や熊野古道など府域の歴史街道の基点となっていた八軒家浜の再生をめざし、船着場や環境整備を行い、新たな舟運拠点や観光集客力を向上させることにより、魅力ある水辺空間の創出を図る。また、舟運復活を目指し、船着場（防災）の整備実施や淀川大堰閘門の設置、航路の確保等について検討を実施。

(1) 地域の歴史文化を保全･再生する取り組み（保存･保全･再生）

コウノトリの野生復帰に向けた取組
（兵庫県　豊岡市）

行　政

◆円山川では
自然再生計画（H17策定）に基づき、高水敷の切り下げなど、湿地の保全・再生・創出による生息環境の再生

住　民

・エサとなるドジョウ・カエル等の繁殖のため、休耕期にも堪水

・農薬を使用しない、環境に優しい農法の実践▽

市　民

コウノトリ野生復帰推進連絡協議会

学 識 者　　行　政

水田の連続性の確保
やさしい農法の普及促進
など

【取り組みの概要】
江戸時代までは各地で吉兆の鳥として大切にされていたコウノトリ。わが国に生息する野生のコウノトリが但馬の地を最後に絶滅して３０余年。兵庫県豊岡市では、昭和３０年頃から保護運動などを展開。近年では、天然記念物に指定されるなど、コウノトリを地域のシンボルとし、野生復帰に向けて円山川等の自然再生や環境に優しい農業の普及・促進など、行政・市民等が一体となった取組を実施。

（1）地域の歴史文化を保全・再生する取り組み（保存・保全・再生）

（5）地域の歴史文化の振興に資する地域づくり、まちづくりへの住民参加・協働による取り組み（住民参加・連携）

旧神戸外国人居留地内煉瓦造下水道
(兵庫県　神戸市)

公開施設位置図

下水道公開施設

煉瓦造下水道内部

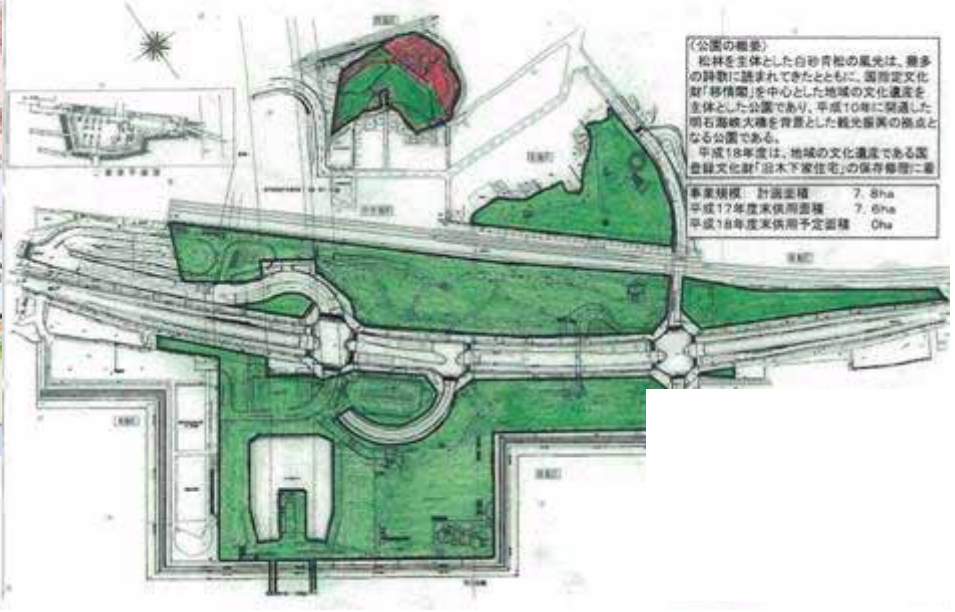
【取り組みの概要】

慶応4(1868)年の兵庫開港に伴い、旧神戸外国人居留地内に建設された煉瓦造下水道(明治2～4(1872)年)は、西欧式下水道としては横浜と並び国内最古のものである。当時の施設は130年以上経過した現在でも、その一部(約90m)を雨水幹線として使用している。また、その歴史的価値が高いことから、平成5(1993)年より下水道公開施設として整備した。
この煉瓦造下水道は、平成14(2002)年に近代土木遺産として土木学会選奨土木遺産に認定されるとともに、平成16(2004)年には、国の文化財建造物にも登録されている。

(1) 地域の歴史文化を保全･再生する取り組み (保存･保全･再生)

歴史的資源の活用を図る舞子公園の整備
(兵庫県　神戸市垂水区)

舞子公園(兵庫県事業、風致公園)



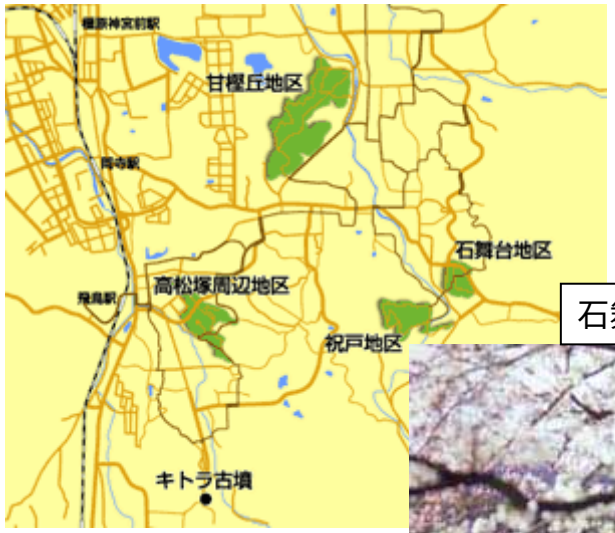
移情閣

【取り組みの概要】

国指定文化財「移情閣」や国登録文化財「旧木下家住宅」(昭和戦前期の数寄屋造りの近代和風住宅) などの地域の文化遺産を活用した公園であり、観光振興の拠点となる公園として整備を推進している。

(1) 地域の歴史文化を保全・再生する取り組み (保存・保全・再生)

飛鳥地方における歴史的風土及び文化財の保存等を図る国営飛鳥歴史公園の整備　（奈良県　明日香村）



石舞台地区

キトラ古墳周辺地区の計画変更

高松塚壁画の解体修理への協力

【取り組みの概要】

文化的資産の保存及び活用を図り、歴史的風土と調和した景観に配慮した整備を行う国営公園であり、祝戸地区、石舞台地区、甘樫丘地区、高松塚周辺地区の既成４地区と、新たに整備するキトラ古墳周辺地区からなる。平成１８年度はキトラ古墳周辺地区の早期開園を目指し、用地買収を進めている。

(1) 地域の歴史文化を保全・再生する取り組み（保存・保全・再生）

今井町（寺内町）における歴史的建造物の保存・街なみの修景整備　（奈良県　橿原市）

【取り組みの概要】

今井町は、室町時代後期に発達した寺内町で四周を環濠に囲まれた「環濠集落」であり、平成5年12月に国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されている。この地区の街並みを保存・保全・再生するために、その地区を貫通・交差していた都計道路を廃止・変更し、地区を迂回させる幹線道路体系を整備し、通過交通を排除するとともに、地区内の道路が現況幅員での歴史的建築物の修景等を実施している。また木造密集地区でもあり、町内防災強化のために公園や防火水槽等も整備している。

（1）地域の歴史文化を保全・再生する取り組み（保存・保全・再生）

近畿圏の歴史文化を活かした
歴史街道モデル事業地区の整備　(近畿圏)

歴史街道モデル事業(京都・高台寺前　ねねの道)
歴史的街なみの景観整備

【取り組みの概要】

関西はまさに「歴史文化の宝庫」として世界に誇れる地域。　歴史街道計画は、関西の歴史文化の素晴らしさを国内外の人々にわかりやすく紹介するプロジェクト。歴史街道モデル事業とは来訪者の方々により楽しく歴史文化に接していただき、地域住民の方には、歴史的地域に住んでいるという誇りと実感をもっていただくという、誰にでも親しめる地域づくりを進めていくことを、モデル的に実施するもの。

(1) 地域の歴史文化を保全・再生する取り組み (保存・保全・再生)

(3) 地域の歴史文化を伝承する取り組み (伝承)

(4) 文化交流を促進する取り組み (交流)

(5) 地域の歴史文化の振興に資する地域づくり、まちづくりへの住民参加・協働による取り組み (住民参加・連携)

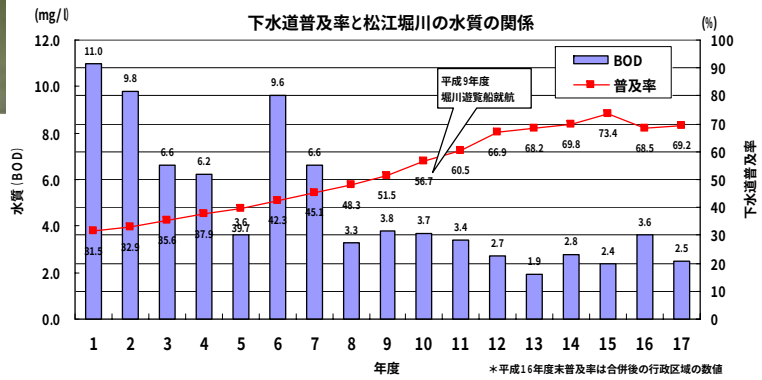
松江堀川の浄化
(島根県　松江市)

ヘドロの溜まった以前の堀川の状況

昭和50年頃の水質汚濁が深刻な松江堀川

平成8年に導水を開始した後の松江堀川

現在の松江堀川の状況



【取り組みの概要】

千鳥城とも呼ばれる松江城の優美な姿を望む松江堀川。昭和３０年代の高度成長期の頃に、水質が急速に悪化し、昭和４０年代にはフナが酸欠のため瀕死することもあった。公共下水道や水質浄化事業により徐々に水質が改善され、現在では、堀川本来の姿を取り戻しつつある。

松江堀川の沿川は、城下町風情が残っており、平成9年から松江城の堀川を遊覧する堀川遊覧が運行し、歴史･文化及び観光の拠点となっている。

(1) 地域の歴史文化を保全･再生する取り組み (保存･保全･再生)

木蝋と白壁の町並み修景
(愛媛県　内子町)

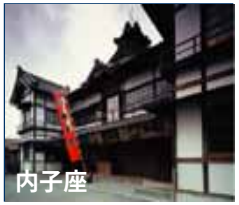
1．3万人(S50年度)の年間観光客数が61．2万人(H16年度)に！

◆修景整備された街なみ

〔内子町成留屋地区(街なみ環境整備事業)〕

◆内子座の活用

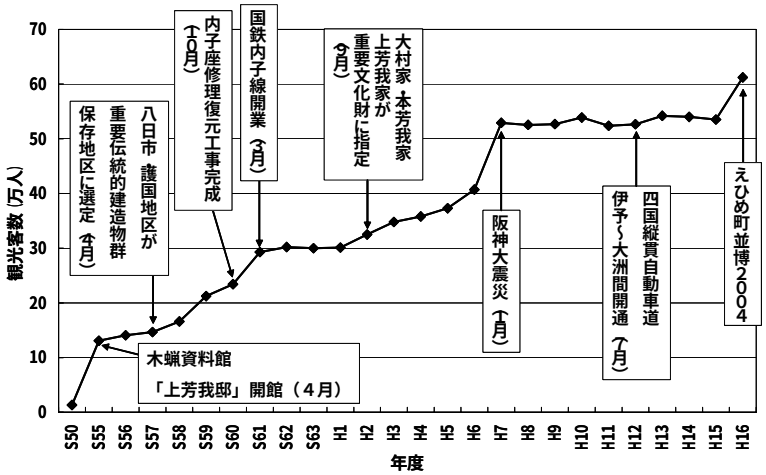
年間80日、16,000人余りが活用



◆特産物の直売

(道の駅「内子フレッシュパークからり」)

平成17年度の販売額は、4億5,000万円で、町の農業総生産の15%を占める。



【取り組みの概要】

街なみ環境整備事業等により商家の連格子、しとみ戸・なまこ壁の修景、電線類の無電柱化等の整備を実施するとともに、木造の歌舞伎劇場「内子座」や重要無形民族文化の木蝋生産用品を活かした観光振興及び道の駅「内子フレッシュからり」を介した生産者と消費者との交流を実施している。

(1)地域の歴史文化を保全・再生する取り組み(保存・保全・再生)

石井樋地区歴史文化の水辺整備
(佐賀県　佐賀市)

施設位置図

歴史文化の伝承施設
「さが水ものがたり館」

土砂の流入抑制施設　像の鼻、天狗の鼻

石井樋地区全景

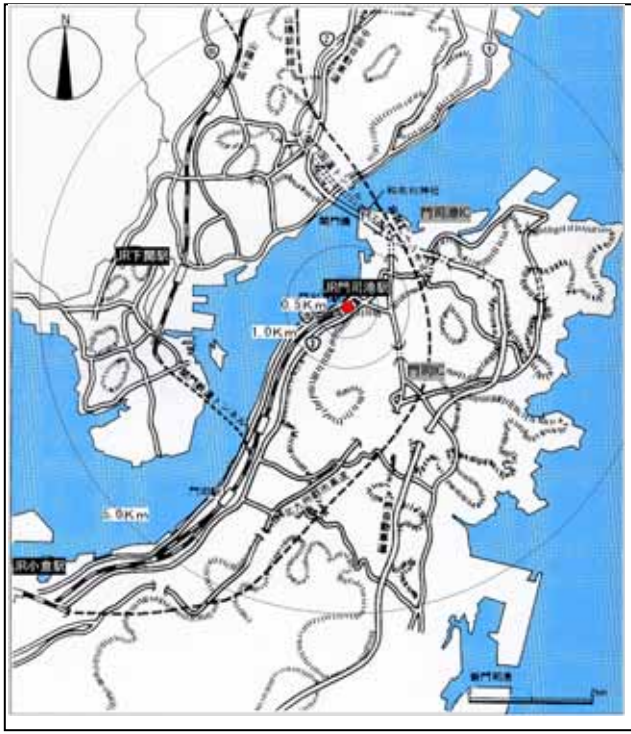
【取り組みの概要】

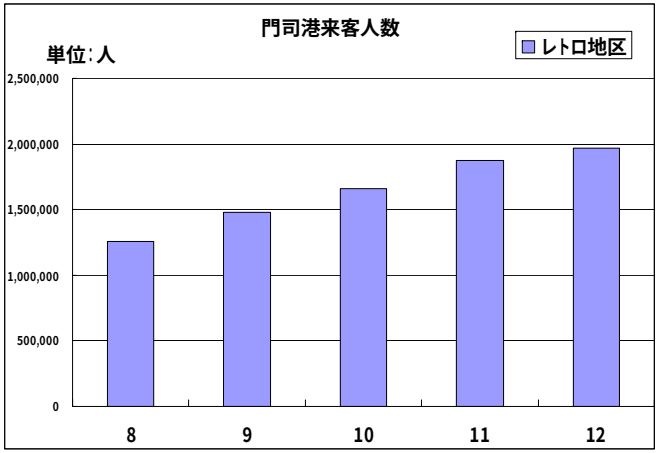
貴重な文化遺産である「石井樋」の保全・再生・活用を図るため、国土交通省・佐賀県・佐賀市が連携協力して進めた事業。土木史上、重要な河川技術（土砂の流入抑制等）や、佐賀の水と土を拓いた歴史の伝承を目指す。皇太子殿下御成婚事業。

（1）地域の歴史文化を保全・再生する取り組み（保存・保全・再生）

（3）地域の歴史文化を伝承する取り組み（伝承）

歴史的･文化的な港湾施設を保全･改修（門司港レトロ）（福岡県　北九州市）





【取り組みの概要】

かつて国際貿易港として栄えた門司港を、関門海峡の自然景観と大正ロマン溢れる歴史的たたずまいが調和する「門司港レトロ」として再生。
民活導入による基盤整備も進められ、現在は北九州市の一大観光拠点となっている。

（1）地域の歴史文化を保全･再生する取り組み（保存･保全･再生）

（5）地域の歴史文化の振興に資する地域づくり、まちづくりへの住民参加･協働による取り組み（住民参加･連携）

国営吉野ヶ里歴史公園　環壕集落跡の復元
(佐賀県　神埼市、吉野ヶ里町)

【取り組みの概要】

国営吉野ヶ里歴史公園は、我が国最大規模の環壕集落跡の保存及び活用を図るために設置された国営公園で、約５４ｈａに及ぶ区域のほとんどが特別史跡や佐賀県史跡に指定されています。国営公園に隣接して、史跡を補完、保護し周辺の自然景観と一体となった整備を行う約63haの県立公園が設置されています。吉野ヶ里遺跡の復元整備にあたっては考古学や民俗学、建築学などの幅広い分野の専門家に検討いただき、当時の様子を復元しています。

（1）地域の歴史文化を保全･再生する取り組み（保存･保全･再生）

歴史的建造物に配慮した街並みの保存・整備
～神代小路(こうじろくうじ)地区　(長崎県　雲仙市)

電柱が移設された通りには看板、自販機等もなく情緒ある雰囲気を目指しました。

茅葺きの武家屋敷は、伝統的建造物に指定され一般に公開されています。

道路縁石に自然石を使用するとともに景観と調和した街灯を設置しています。

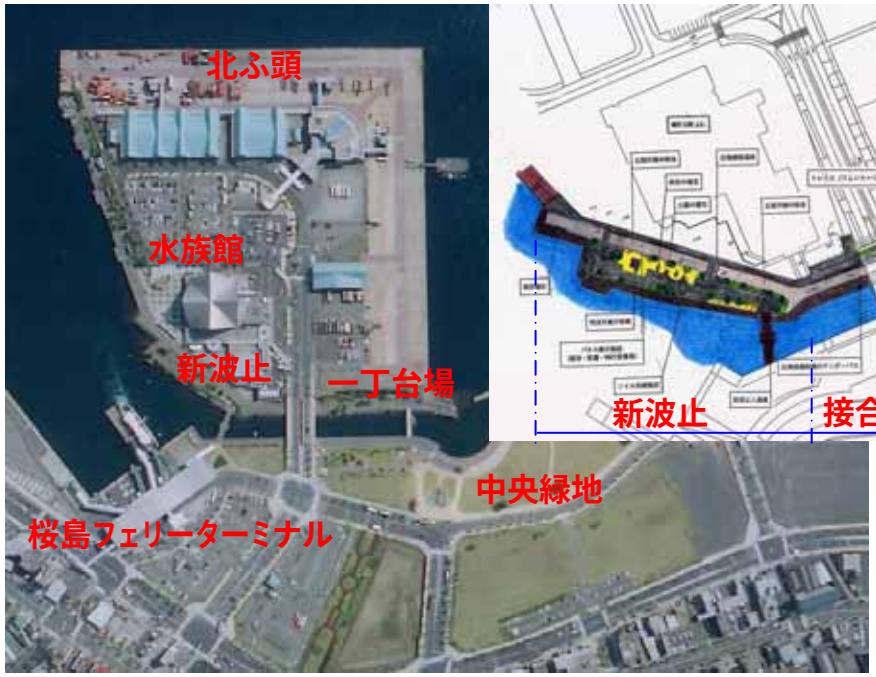
【取り組みの概要】

当地区は、江戸期から変わらない小路や地割に長屋門や石垣などの伝統的な建造物と水路や生垣などの伝統的な環境要素が織りなす武家地特有の閉鎖的な空間として密度の高い歴史的風致を維持しており、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。

市民共有の財産としてその保存・整備を行い、活用を図ることで地区住民が歴史文化に誇りを持つことで質の高い生活環境の維持形成を目指しています。(18年度「美しいまちなみ大賞」受賞地区)

(1) 地域の歴史文化を保全・再生する取り組み (保存・保全・再生)

景観や歴史的価値に配慮した港湾整備（鹿児島港）
（鹿児島県　鹿児島市）



保存・修復された新波止及び接合部分

一丁台場先端部分 →

【取り組みの概要】

鹿児島港本港区緑地は、桜島を取り入れた景観に配慮した整備に加え、薩摩藩政時代に築造された歴史的価値の高い石積み防波堤を保存活用した整備がなされている。

周辺には、フェリーターミナルや水族館などがあり良好な景観を創出している。

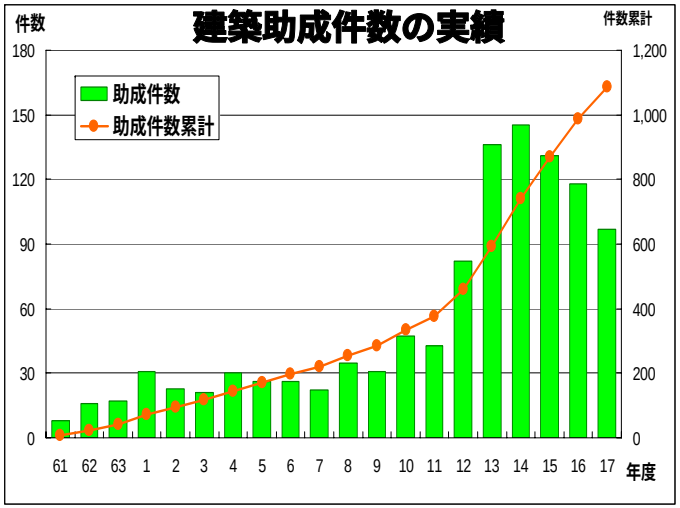
（1）地域の歴史文化を保全・再生する取り組み（保存・保全・再生）

◇　(2) 地域の新たな文化を創出する取り組み (創出)

○ 地域の素材や伝統的な工法を活かした「金山型住宅」(山形県金山町)
○ 茨城県内つくばエクスプレス沿線地区の地域ブランドとして「つくばスタイル」の提唱・発信 (茨城県つくば市・つくばみらい市)
○ 港湾施設の意匠の工夫 (横浜港大桟橋国際旅客ターミナル) (神奈川県横浜市)
○ 専門家と住民の意見に基づく港の色彩計画 (静岡県静岡市)
○ 名古屋市堀川における市街地整備と一体となった河川改修 (愛知県名古屋市)
○ 妖怪をテーマとしたユニークなまちづくり (鳥取県境港市)
○ 河川や海を利用し個性と魅力あふれるまちづくりを目指す「水の都ひろしま」構想 (広島県広島市)

地域の素材や伝統的な工法を活かした「金山型住宅」（山形県　金山町）

金山型住宅の街なみ



※建築助成件数：新築、増改築、建築物の色彩変更等の合計件数

【金山型住宅とは】
■外壁（上部）：真壁造り、色は白または土壁仕上げの風景と調和する自然色。　■屋根：切り妻、色はこげ茶または黒で統一。
■外壁（下部）：杉板張りで生地色またはオイルステン色。　■構造：在来工法木造住宅。高床式住宅は風景、街並みに調和させる。

【取り組みの概要】
金山町では昭和59年度に地域住宅計画（HOPE計画）を策定し、地元の金山杉や伝統的な工法を活かした「街並み（景観）づくり100年運動」を展開しており、街並みの基本となる「金山型住宅」として基準を定め建築助成等を行っている。

（2）地域の新たな文化を創出する取り組み（創出）

茨城県内つくばエクスプレス沿線地区の地域ブランドとして「つくばスタイル」の提唱・発信（茨城県つくば市・つくばみらい市）

【つくばエクスプレス沿線地区】

■つくばスタイルを体感するイベントの開催 →

■ムック誌の発行↓

■つくばｽﾀｲﾙｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ開催↓

【取り組みの概要】

都市機構茨城地域支社と茨城県が共同で、つくばならではの魅力「豊かな自然環境」「都市的な快適さ」「知的な環境」を享受するライフスタイル＝「つくばスタイル」を提唱し、地元自治体・市民団体・大学等と連携して地域ブランドとして発信

(2) 地域の新たな文化を創出する取り組み（創出）
(5) 地域の歴史文化の振興に資する地域づくり、まちづくりへの住民参加・協働による取り組み（住民参加・連携）

港湾施設の意匠の工夫（横浜港大桟橋国際旅客ターミナル）（神奈川県　横浜市）

【取り組みの概要】
　２１世紀のクルーズ需要に対応し、横浜の海の玄関にふさわしい国内外交流をはぐくむ施設とするため、旅客ターミナルを中心に市民と港を結ぶ拠点として２００２年に整備された。

（2）地域の新たな文化を創出する取り組み（創出）

（4）文化交流を促進する取り組み（交流）

専門家と住民の意見に基づく港の色彩計画
(静岡県　静岡市)

清水港

空・海・富士山といった清水港を取り巻く自然状況等を踏まえ、港のシンボルカラーとしてアクアブルーとホワイトの2色を設定

【取り組みの概要】

市民、企業、学識経験者、清水市、静岡県（港湾管理者）、国からなる協議会を設置し、清水港の色彩計画を策定

（2）地域の新たな文化を創出する取り組み（創出）

（5）地域の歴史文化の振興に資する地域づくり、まちづくりへの住民参加・協働による取り組み（住民参加・連携）

名古屋市堀川における市街地整備と一体となった河川改修　(愛知県　名古屋市)

● 賑わいの創出　納屋橋を核とした堀川のにぎわい再生

オープンカフェ【社会実験】
地域・店舗の協力

納屋橋下流左岸事業用地
民間活力の活用

観光都市名古屋の推進

水上観光
市内観光ルートへの取り込み
市民・NPO・民間との協働

名古屋観光ルートバス
レンタサイクル
などとの連携

・水上バス
（定時運行）へ

歴史的・文化的施設
観光スポット化
・旧加藤商会ビル
・堀川七橋
・宮の渡し
など

遊覧施設
市民との協働による
観光スポット化
・ゴンドラ

● 水質改善

市民とともに実施する浄化施策
堀川一斉大そうじ

水環境の改善施策
雨水滞水池の建設（合流式下水道の改善）

環境整備しゅんせつ

● 地域の歴史文化の保全･再生･創造

平成19年度から、啓発イベントや市民参加型イベントを実施。
市民の関心や気運を盛り上げ、堀川再生へ繋げていく。

三英傑名古屋城船乗込み

イルミネーションシップ

水上音楽祭

フラワーフェスティバル

【取り組みの概要】

堀川は名古屋城築城と時を同じくして開削され、舟運等により名古屋の発展を支えてきた河川。河川改修、水質の浄化、沿川地域のまちづくりと連携し事業を実施。

(2) 地域の新たな文化を創出する取り組み (創出)

妖怪をテーマとしたユニークなまちづくり
(鳥取県　境港市)

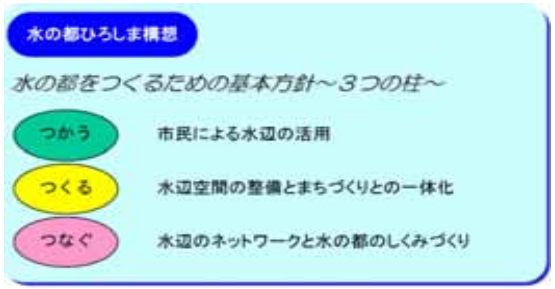
水木しげるロードのブロンズ像

【取り組みの概要】

境港市は、平成元年から「緑と文化のまちづくり」の取り組みを始める。このまちづくりの一環として、JR境港駅から商店街を結ぶ目抜き通りを妖怪と漫画をテーマにしたｺﾐｭﾆﾃｨｰﾃｨｰ道路として整備。　それまで、ほぼゼロに等しかった観光客が平成１７年度には約８６万人が訪れるほどの新たな文化の拠点となっている。

(2) 地域の新たな文化を創出する取り組み (創出)

河川や海を利用し個性と魅力あふれるまちづくりを目指す「水の都ひろしま」構想　（広島県　広島市）



【取り組みの概要】

広島市街地の護岸や緑地の着実な整備と整備された河岸の利用を活性化し、市民により身近なものとしていこうと、平成１５年１月「水の都ひろしま」構想が策定され、市民、広島市、広島県、国土交通省が連携して取り組みを進めている。

(2) 地域の新たな文化を創出する取り組み（創出）

◇　(3) 地域の歴史文化を伝承する取り組み (伝承)

○ 無電柱化による地域のまつりを支援 (青森県五所川原市)

○ 京都迎賓館の整備 (京都府京都市)

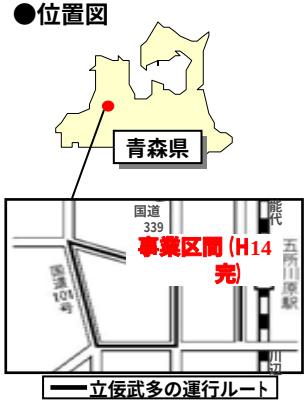
○ 円山川“ふるさとの川整備事業”歴史と自然を楽しむ水辺空間の整備 (兵庫県朝来市)

○ 通りの名前を利用した道案内プロジェクト (長崎県長崎市)

○ 竹富島における祖先から受け継いだ伝統、生活、文化、美しい町並み、自然等を活力のあるものとして後世へ伝える取り組み (沖縄県八重山群竹富町)

無電柱化による地域のまつりを支援
(青森県　五所川原市)

●位置図



●電線の阻害状況

●立佞武多の変遷

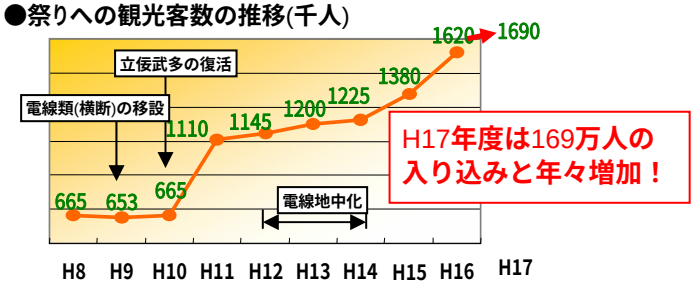
▼明治中期から大正初期にかけて行われた立佞武多

▼電線(横断)の移設により立佞武多復活

▲縮小したネプタ（昭和初期）

▼電線地中化により迫力の増した立佞武多

●祭りへの観光客数の推移(千人)



【取り組みの概要】

青森県五所川原市において、沿道景観、まつり景観の向上のため、道路の地下空間を活用した「電線類の地中化」を図るもの。「電線類の地中化」を行うことで、「立佞武多（たちねぷた）」は毎年百万を超える観光客が訪れる一大イベントに発展し、商店街並びに地域の活性化が図られた。

(3) 地域の歴史文化を伝承する取り組み（伝承）

京都迎賓館の整備
(京都府　京都市)

経緯　平成2年7月　平安建都１２００年目建設の要望書

平成6年10月　閣議了解

・より多様で緊密な外交･国際交流を展開し、歴史的･文化的側面含めた幅広い対日理解を醸成していく必要

･我が国の歴史･文化の象徴として国際的にも広く知られる京都の地（京都御苑）に、

･国の迎賓施設を和風の態様によって建設する。

平成14年3月起工

平成17年2月完成

設計の基本方針

･周辺環境との調和

･池を中心とした日本庭園。

それを囲む諸室を回廊でつなぐ

･歴史･文化に根ざした日本の空間

建物配置

･伝統的な非対称で雁行する建物配置

伝統的技能の活用

大工（数寄屋）

畳工事　漆

左官　截金

和建具　作庭

表具　竹工芸

錺金物　石造工芸

【取り組みの概要】

外国からの国賓を歓迎し、日本らしく持て成す施設として計画された京都迎賓館は、日本の様式美や伝統的技能を活かしながら、現代の技術と融合させ、日本を代表する建物として、また古来から伝わる伝統的技術を継承させ、広く世界に日本固有の文化を発信できる施設として整備された。

（3）地域の歴史文化を伝承する取り組み（伝承）

（4）文化交流を促進する取り組み（交流）

円山川”ふるさとの川整備事業”
歴史と自然を楽しむ水辺空間の整備　(兵庫県　朝来市)

周辺の歴史・文化

①国史跡「竹田城跡」
(標高353m、400m×100m)

②寺町通り
(城下町、寺と神社が建並ぶ)

③みこし川渡御
(毎年10月の秋祭り)

整備状況・利用状況

◇石垣風の護岸整備
(城跡の石垣風護岸と桜並木の水辺空間)

◇親水空間の整備
(広場や川遊びのスペースを“水辺の楽校”として整備)

◇みこし川渡御
(緩傾斜護岸をみこしが渡る)

◇水辺の楽校
(川あそび、生き物調査など体験学習として利用)

【取り組みの概要】

円山川では、河川改修にあたり地域の伝統行事である松明(たいまつ)祭りや、みこし川渡御(かわとぎょ)などができる護岸を整備すると共に、竹田城跡や寺町通りなどの歴史に配慮した石垣風護岸を整備し、豊かで活力ある町づくりに資する水辺空間の創出を図る。　また、川遊びや生き物とのふれあいなど水辺に親しめる河岸を整備し、豊かな自然を楽しむ河川空間の創出に寄与している。

(2) 地域の新たな文化を創出する取り組み(創出)
(3) 地域の歴史文化を伝承する取り組み(伝承)

通りの名前を利用した道案内プロジェクト
(長崎県　長崎市)

長崎中心部街路 旧町名で表示
「道案内プロジェクト」

観光客にウケてます

アンケート 9割が取り組み評価

東古川通り
HIGASHIFURUKAWA STREET
9

観光客に好評の「道案内プロジェクト」の道路標示＝長崎市古川町

H18.6.4　**長崎新聞**

各通りの20mブロック毎に位置番号を付与

現地に標識を設置

路側表示

路面表示

【取り組みの概要】

案内したい場所をうまく説明できない、また地元に根強く残る地域の歴史と由緒ある旧町名や通りの名前が利用されていない。そこで、地域住民と協働で、通り名の分かる路側表示や路面表示を設置し、また、これらの表示と整合を図るためのマップを作成し、市民や観光客に分かりやすい通りづくりと町の歴史を継承する取り組みを実施。

(3) 地域の歴史文化を伝承する取り組み (伝承)

竹富島における祖先から受け継いだ伝統、生活、文化、美しい町並み、自然等を活力のあるものとして後世へ伝える取り組み　（沖縄県　八重山郡　竹富町）

竹富島町並み

観光用　水牛車

【取り組みの概要】

竹富島は国立公園内に位置し、伝統的建造物群に選定された集落景観と種子取祭をはじめとする年間22回の祭事行事を、その暮らし方とともに保存してきた。また、昭和６１年には「竹富島憲章」など独自の理念で祖先から受け継いだ伝統、生活、文化、美しい町並み、自然等を活力のあるものとして後世へ引き継いでいる。

（3）地域の歴史文化を伝承する取り組み（伝承）

◇ (4) 文化交流を促進する取り組み (交流)

○ ビール工場として歴史を刻む赤レンガ建物を保存し、多彩な都市機能を整備～サッポロファクトリー (札幌市)
○ 北上川水辺プラザ (北上川歴史回廊構想) (岩手県・宮城県)
○ 上野の森における歴史的建築物の保存・再生および文化施設の整備 (東京都台東区)
○ 四国全域に点在する歴史的文化遺産を結ぶ「歴史・文化道」の整備 (四国全域)
○ みずべを核とした地域の活性化、振興、発展、創出を目指す「四国のみずべ八十八カ所」の取り組み (四国全域)
○ 「国立劇場おきなわ」の整備 (沖縄県浦添市)
○ 文化観光懇談会における検討
○ 産業観光推進懇談会の設置
○ 日本のアニメを活用した国際観光交流等の拡大による地域活性化調査

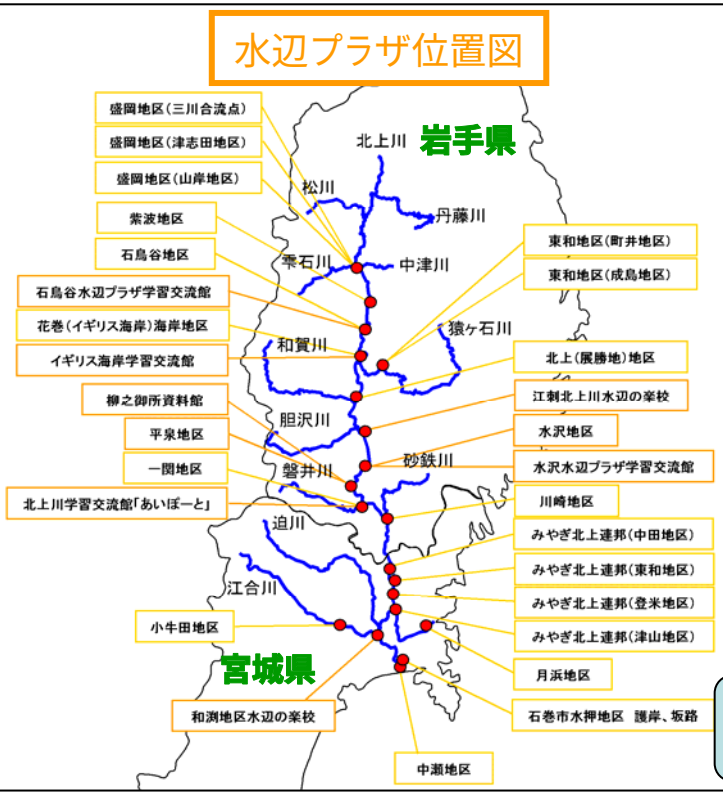
ビール工場として歴史を刻む赤レンガ建物を保存し、多彩な都市機能を整備～サッポロファクトリー（北海道　札幌市）

【取り組みの概要】

ビール工場として歴史を刻む赤れんが建築を保存し、ホテル、オフィス、スポーツ施設、商業・飲食施設、企業パビリオン、シネマコンプレックスなど、多彩な都市機能を整備して、複合的に展開する新しい交流スポットを形成。（Ｈ４事業終了）

（4）文化交流を促進する取り組み（交流）

北上川水辺プラザ（北上川歴史回廊構想）
（岩手県　宮城県）



水辺プラザ周辺では、伝統行事や桜祭り、学習、Eボート大会など特色ある様々な利用がなされております。

【取り組みの概要】
　川を基軸に歴史・文化や豊かな自然環境等を素材とした流域の人々の交流ネットワークを構築し、その活動を支援する自然の学習、交流の場を沿川に整備。

（4）文化交流を促進する取り組み（交流）

上野の森における歴史的建築物の保存･再生および文化施設の整備
(東京都　台東区)

国際子ども図書館

明治期の外観や内装を保存しながら新しい機能を整備し、児童書専門図書館として再生しました。

東京国立博物館法隆寺宝物館

法隆寺に伝来した宝物の、高度な保存機能を備え、広く公開する施設として整備しました。

東京国立博物館平成館

貴重な文化遺産を守るため、長期間にわたり建物の大規模な改修の必要がない高度な耐久性を持たせました。

国立西洋美術館

建築家ル･コルビジェによる外観デザイン保存のため免震による耐震改修を行い、新しい展示スペースを景観上の配慮をして地下に増築。

【取り組みの概要】

都内有数の観光地であり文化地区である上野の森において、歴史的建築物を保存･活用し、また、新たな文化施設を景観形成に配慮しながら整備し、さらなる文化交流の促進やにぎわいを創出している。

(1) 地域の歴史文化を保全･再生する取り組み (保存･保全･再生)
(2) 地域の新たな文化を創出する取り組み (創出)
(4) 文化交流を促進する取り組み (交流)

四国全域に点在する歴史的文化遺産を結ぶ「歴史・文化道」の整備　（四国全域）

平成9年、四国の官民が一体となって「歴史文化道推進協議会（会長：四国経済連合会会長）」を設立し、歴史的テーマをもつ11のモデル地域を設定

◆歴史文化道整備計画を定め、歴史的文化遺産を安全・快適・効率的に巡るための案内標識等の整備（道路管理者）

◆「歴史文化道推進協議会」が中心となって『全国街道交流会議　第4回全国大会「四国大会」』の開催

◆パンフレット・広報誌及び各種イベント等によるPR活動

歴史・文化道案内板

PRビデオとリーフレット

【取り組みの概要】

官民が一体となって、四国の歴史・文化資産を活かし、地域に対する誇りと愛着心を高め、また、地域の魅力向上による交流人口の増大、中山間地域の活性化を図り、四国の自立的かつ持続的発展につなげていくことを目指し、取り組みを進めている。

（4）文化交流を促進する取り組み（交流）

みずべを核とした地域の活性化、振興、発展、創出を目指す「四国のみずべ八十八カ所」の取り組み　(四国全域)

テーマ
「歴史、文化、風土に潜む魅力創出」
「情ある人間交流の再形成」
「地域の特徴を活かした活性化」
「四季折々に魅力あふれるみずべ」

◆産官学からなる四国のみずべ八十八カ所実行委員会を組織し、「みずべ八十八カ所」を選定
◆平成１６年度よりフォトコンテストを開催。　９１４点の応募
◆地域活性化に向けた広報活動を展開

81番 高松水の都今昔物語

1番 鳴門海峡

51番 内子の屋根付き橋

41番 足摺岬

【取り組みの概要】
　産官学はもとよりＮＰＯや地域住民の方々と一丸となって、みずべを核とした地域の活性化、振興、発展、創出を目指す取り組みを進めている。

(4) 文化交流を促進する取り組み (交流)

「国立劇場おきなわ」の整備
（沖縄県　浦添市）

国立劇場おきなわ

大劇場（舞台側より）

組踊　執心鐘入

【取り組みの概要】

国の重要無形文化財「組踊」を中心とする沖縄伝統芸能の保存振興を図るとともに、沖縄の地理的、歴史的な特性をいかし、伝統文化を通じたアジア・太平洋地域の交流の拠点となることを目的に整備。

（4）文化交流を促進する取り組み（交流）

文化観光懇談会における検討

日本の庭園から日本人の美意識・自然観を学ぶモデルツアー
（平成18年3月6日～7日）

異文化で育った人々に、より深く日本文化を伝える糸口や方法を探るため、外国人を対象としたモデルツアー実施した。

河合隼雄前文化庁長官、VAN TONDER GERT JAKOBUS 京都工芸繊維大学助教授、矢ヶ崎善太郎京都工芸繊維大学助教授から英語による解説等を行うとともに、その質疑の状況を記録にとどめ、今後、視察した箇所を含め広く日本の文化を外国人に伝える基礎資料とした。

「ようこそ山形へ、もうひとつの日本」モデルツアー
（平成18年10月25日～26日）

京都や奈良などの文化の対極にあるとも言える“もうひとつの日本・山形”に、日本人の魂を訪ね、外国人留学生、山形県内観光ガイドボランティアを対象としたモニターツアーを実施した 。

【取り組みの概要】

「日本人自身の日本の歴史や文化への理解を深めるとともに、外国人の視点をも取り入れて文化観光資源を発掘・活用し、それらを多くの旅行者に、好みに応じて触れ・体験できるようにすること」を目的に文化観光懇談会を設置し、意見交換や京都・山形でのモニターツアーを実施。

（1）地域の歴史文化を保全・再生する取り組み（保存・保全・再生）
（3）地域の歴史文化を伝承する取り組み（伝承）
（4）文化交流を促進する取り組み（交流）
（5）地域の歴史文化の振興に資する地域づくり、まちづくりへの住民参加・協働による取り組み（住民参加・連携）

産業観光推進懇談会の設置

観光立国推進戦略会議報告書（平成16年11月30日）：
「国、地域は、近代の街並み、産業遺産、産業施設を観光資源として積極的に活用する」

○ 国内における新たな観光需要の創出への期待
○ 外国人が持つ日本の産業技術に対する高い関心による訪日促進を図る上での産業観光への期待

今後、産業観光をさらに推進し、国内及び国外からの観光客の誘致を積極的に図る必要

産業観光推進懇談会

設置目的

産業観光推進にあたっての課題の整理

産業観光の推進方策の検討
①国内外の観光客への積極的な情報発信のあり方
②産業観光施設間のネットワーク化、連携強化方策
等

検討会の構成

官民の産業関係者、観光関係者等より構成

①学識経験者
羽田　耕治　　横浜商科大学教授（座長）
②関係省庁
国土交通省、総務省、文部科学省、
農林水産省、経済産業省
③関係団体等

【取り組みの概要】
今後、産業観光をさらに推進し、国内及び国外からの観光客の誘致を積極的に図る必要があるため、官民の関係機関による産業観光推進懇談会を設置。

（1）地域の歴史文化を保全・再生する取り組み（保存・保全・再生）
（3）地域の歴史文化を伝承する取り組み（伝承）
（4）文化交流を促進する取り組み（交流）
（5）地域の歴史文化の振興に資する地域づくり、まちづくりへの住民参加・協働による取り組み（住民参加・連携）

日本のアニメを活用した国際観光交流等の拡大による地域活性化調査

目的

●青少年・国際交流拠点の構築
●地域同士の連携と海外へ向けたPR
●アニメを地域振興の核とした国際競争力のある観光地づくり
●京都市において、平成18年11月京都国際マンガミュージアムがオープン予定
平成20年には同地で国際マンガサミットの開催が決定
●日本アニメの国際賞受賞やコンテンツとしての世界的人気の高まりを活用
●「外国人から見た観光まちづくり懇談会」（第1回：平成18年2月）において、外国人有識者より「ゲーム、マンガ、サブカルチャーなどの日本の若者文化を紹介すべき。」との指摘

調査

モデル地域・エリアでの検討

●アニメ等のコンテンツの流通・集積地にある大学の人材や企業とのネットワークを活用した、新たな国際観光交流ビジネスモデルの検討　（東京都）

●マンガに関連する大学やミュージアムによる、地域に根ざした青少年交流・国際交流拠点構築のための公開講座・体験講座等の仕組みづくり（京都市）

●各地域のアニメ等の作家やキャラクター等をテーマにした博物館や地域づくりの取組を広域的に連携し、魅力的な国際観光ルートの構築及びビジット・ジャパン・キャンペーンと連携した世界へのPR（宝塚市、倉敷市、境港市、北栄町）

○モデル地域・エリアでの検討を踏まえ、各地で活用可能なアニメコンテンツと観光との連携強化のための方策や推進体制のあり方の取りまとめ

全国規模での取組の展開が加速

成　　果

●**アニメ等を核とした国際観光交流ビジネスモデルの構築**
●**アニメ等による国際交流を通じた地域振興**
●**広域連携の実現、テーマ性の創出による訪日外客の増加**
●**アニメツアー等による外国人旅行者の訪日動機の形成**

◇観光立国の実現！！

◇日本のアニメ等のブランド力向上！！

地域の活性化

【取り組みの概要】

日本のアニメを通じた国際観光交流の拡大を目指し、アニメに関するニーズの把握、アニメ等と他産業との連携強化、アニメ関連施設を活用した地域交流拠点の構築、アニメ関連施設間の広域連携について検討を行い、アニメ等を核とした持続可能な交流を通じた地域活性化方策を検討する。

（2）地域の新たな文化を創出する取り組み（創出）

（4）文化交流を促進する取り組み（交流）

（5）地域の歴史文化の振興に資する地域づくり、まちづくりへの住民参加・協働による取り組み（住民参加・連携）

◇　(5) 地域の歴史文化の振興に資する地域づくり、まちづくりへの住民参加・協働による取り組み (住民参加・連携)

○ 江差町における歴史的建造物を生かした街なみ景観の整備 (北海道江差町)

○ 道をきっかけに地域住民の方々と行政が連携～シーニックバイウェイ北海道 (道内)

○ 下田街道の歴史的な価値の再発見を目指す「下田街道活用推進協議会」の取り組み (静岡県下田市、伊豆市、河津町、伊豆の国市、函南町、三島市)

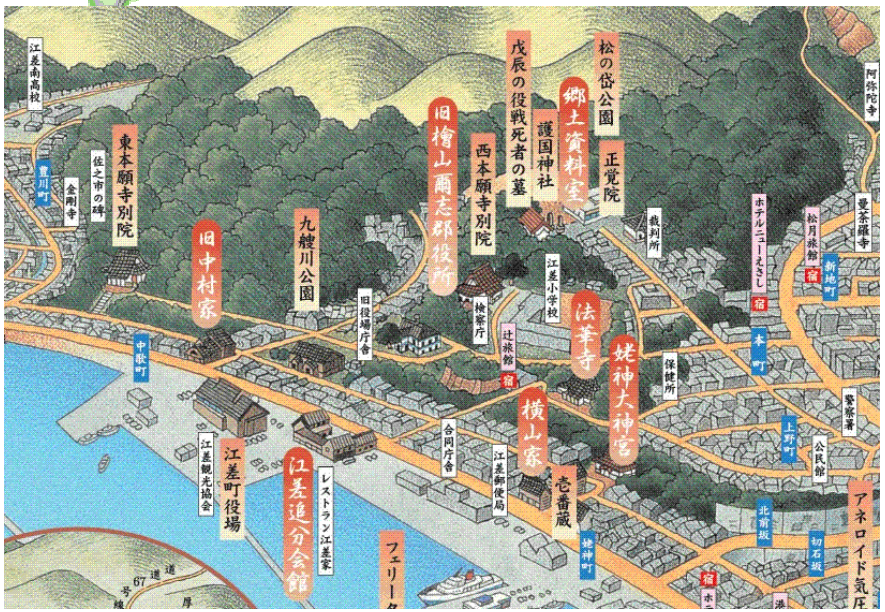
○ 山代温泉九谷の里づくり事業 (石川県加賀市)

○ 旧街道を魅力ある遺産として再整備 (萩往還) (山口県萩市、山口市、防府市)

○ 住民参加のまちづくり (高知県檮原町)

○ 地域住民を中心としたワークショップにより道案内図「上町マップ」を作成 (鹿児島県鹿児島市)

江差町における歴史的建造物を生かした街なみ景観の整備
(北海道　江差町)



【取り組みの概要】

明治初期まで檜材とニシン取引で賑わった街道の歴史的建造物を生かした街なみ景観について、地区住民との協定により「歴史を生かすまちづくり」を基本方針とした街路、小公園、案内看板の整備、住宅の修景を行い、江差らしい街なみ環境を創出した。(街路事業H16完、街なみ環境整備事業継続中)

(5) 地域の歴史文化の振興に資する地域づくり、まちづくりへの住民参加・協働による取り組み (住民参加・連携)

道をきっかけに地域住民の方々と行政が連携
～シーニックバイウェイ北海道（北海道）

平成１７年度までの取組の一例

沿道花植活動

フォーラムの開催

勉強会･ワークショップ

景観診断

道路の清掃活動

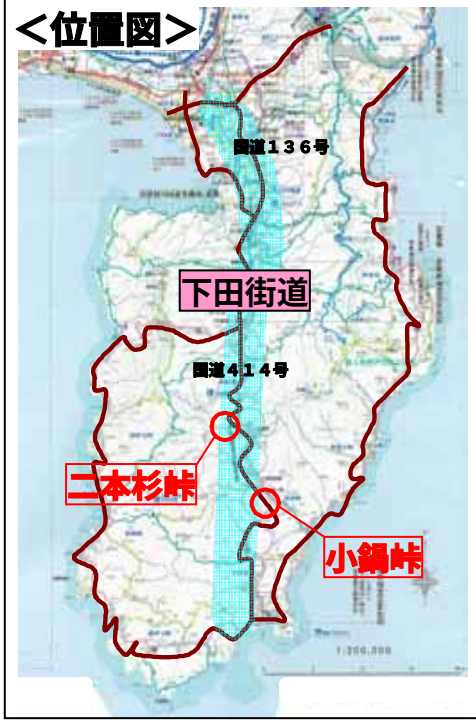
【取り組みの概要】

「シーニックバイウェイ北海道」とは、沿道景観などの地域資源に優れたルートを指定して、地域と行政が連携し、地域資源の保全･改善による「美しい景観づくり」、「活力ある地域づくり」、「魅力ある観光地づくり」を行う制度です。

（5）地域の歴史文化の振興に資する地域づくり、まちづくりへの住民参加･協働による取り組み（住民参加･連携）

下田街道の歴史的な価値の再発見を目指す「下田街道活用推進協議会」の取り組み（静岡県下田市、伊豆市、河津町、伊豆の国市、函南町、三島市）

＜位置図＞

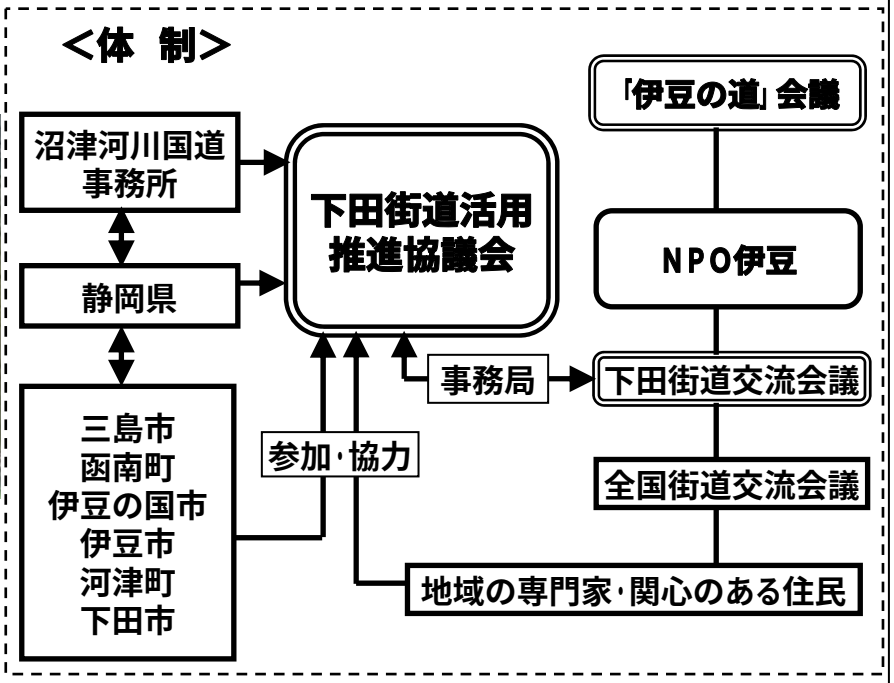


＜活動状況＞

小鍋峠の整備　（H17．10．22）

協議会メンバーと街道整備に賛同した地域住民と一緒に整備を実施

＜体　制＞



【取り組みの概要】

「下田街道の歴史的な価値を再発見しよう」と、地域住民やNPOなどが中心となり平成15年に下田街道交流会議が発足、二本杉峠、小鍋峠の保全・整備や「ハリス江戸出府行列ウォーキング」などを開催、さらに平成16年6月、地域住民と行政のパートナーシップにより「下田街道活用推進協議会」を設立し、古い下田街道の面影が残る二本杉峠・小鍋峠周辺を「下田街道と開国の歴史を学ぶ道」と位置づけ、街道の保全・整備、観光資源としての活用、街道の歴史を語る人材の育成などを実施している。

(1)地域の歴史文化を保全・再生する取り組み（保存・保全・再生）
(2)地域の新たな文化を創出する取り組み（創出）
(4)文化交流を促進する取り組み（交流）
(5)地域の歴史文化の振興に資する地域づくり、まちづくりへの住民参加・協働による取り組み（住民参加・連携）

山代温泉九谷の里づくり事業
(石川県　加賀市)

実施主体:加賀商工会議所

①多言語観光パンフレットと町歩きマップの作成・HPの多言語化
②交流ステーション整備
③九谷焼ミニギャラリーの整備・運営、イベント等の実施
④泊食分離の推進と滞在プログラム化事業
⑤外国人観光客対応の地域伝統芸能イベントの実施
⑥歴史的文化風景モデルコースの開発・ガイドブックの制作
等

山代温泉

九谷焼ギャラリー
店舗内

【取り組みの概要】

地域の民間と行政が一体となった観光振興の取組みを総合的に支援することによって地域の魅力の増進を図る観光ルネサンス事業において、加賀商工会議所が中心となって山代温泉で実施している九谷焼や伝統芸能等を活かした温泉観光地づくりの取組を支援。

(5)地域の歴史文化の振興に資する地域づくり、まちづくりへの住民参加・協働による取り組み(住民参加・連携)

旧街道を魅力ある遺産として再整備（萩往還）
（山口県　萩市、山口市、防府市）

当時の面影が残る萩往還

市民自らカメラやノートを片手に
現地のネタ（穴場）を探索。
みんなで集まってマップに掲載したい
情報を投票制で決定。

第1巻　平成15年　作成
第2巻　平成16年　作成
第3巻　平成17年　作成

萩往還マップ

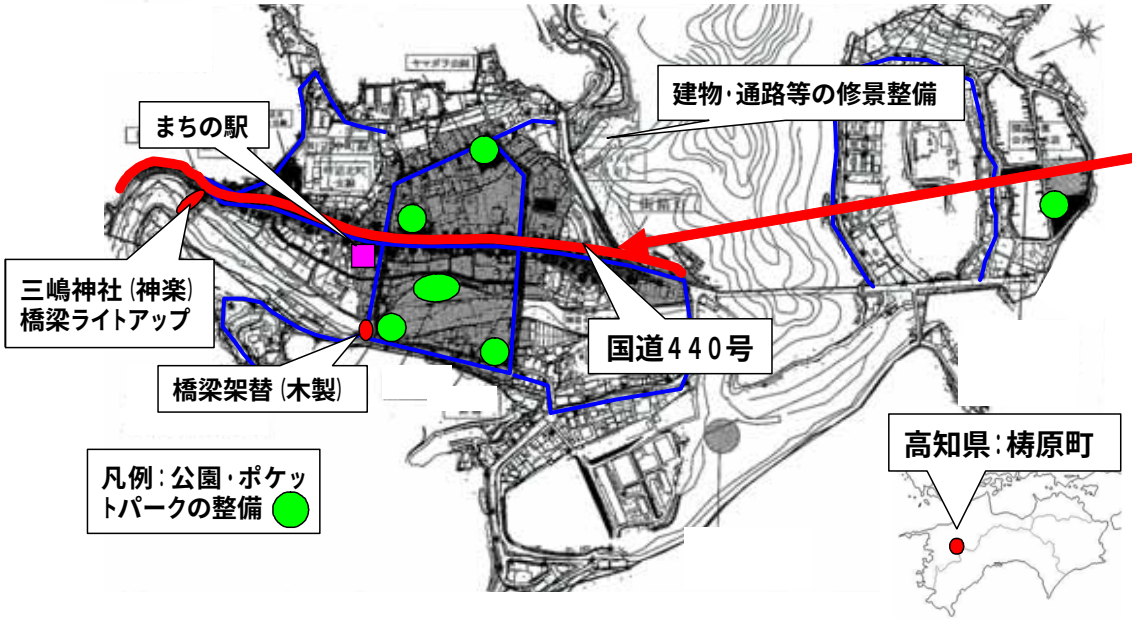
NPOによる萩の町並みガイド

【取り組みの概要】

毛利氏が萩城築城後、参勤交代で江戸へ向かう「お成り道」として萩市と瀬戸内海側の三田尻港（防府市）をほぼ直線で結ぶ約53kmの街道。現在、魅力ある遺産として地元3市による再整備が進められているほか、沿線住民やボランティア団体などが協力して散策マップを作成するなど、萩往還を中心とした住民参加・協働の取組みも行われている。　また、萩は江戸時代の地図がそのまま使えるまちであり、萩のまちじゅうを博物館としてとらえ、この都市遺産を大切に保全・活用した取組みを住民参加・協働により進めている。

（5）地域の歴史文化の振興に資する地域づくり、まちづくりへの住民参加・協働による取り組み（住民参加・連携）

住民参加のまちづくり
(高知県　檮原町)



地域住民の協働
（高知県檮原町　たくみの会）

メンバー：地域住民＋町職員
取り組み概要：一般国道440号の改修にあたり、ワークショップ開催等を通じて、住民主体の計画づくりや沿道住民の意見調整を実施

まちづくり会議

津野山神楽

脱藩のみち清掃

【取り組みの概要】

檮原町の住民主体の団体「たくみの会」が中心となり、坂本龍馬が通った脱藩の道の清掃活動や、神楽を始めとする信仰文化が残る檮原町の中心地を通る国道４４０号の改修あたり、道路の景観設計やまちづくりについて、沿線住民の意見調整を実施するなど、住民主体のまちづくり活動を行っている。

(5) 地域の歴史文化の振興に資する地域づくり、まちづくりへの住民参加・協働による取り組み（住民参加・連携）

上　町（かんまち）みち案内マップ
（鹿児島県　鹿児島市）

地元住民とのワークショップ

▼地域住民と作成した『みち案内マップ』

（ガイド面）

（地図面）

【取り組みの概要】

薩摩藩主島津氏の居城であった鹿児島城（鶴丸城）の上方に位置する鹿児島市上町地区は江戸時代以前の古い城下町であった事は余り知られていない。そこで新聞広告によって応募のあった市民と古い街並みを歩きながら発見した史跡や町並みなどを記載したマップを作成。

第２弾として下方部分である天文館（南九州一の繁華街）マップを地元小学生と一緒に作成し、住民参加の下、地域再発見、観光振興に貢献する取り組みを実施。

（５）地域の歴史文化の振興に資する地域づくり、まちづくりへの住民参加・協働による取り組み（住民参加・連携）